



## 令和8年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年5月15日

上場会社名 KLASS株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6233 URL <https://www.klass-corp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771  
 半期報告書提出予定日 令和8年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和8年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和7年10月1日～令和8年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年9月期中間期	5,239	6.1	267	2.1	223	△6.9	143	△16.7
7年9月期中間期	4,939	3.8	261	367.2	240	480.2	172	ー

(注) 包括利益 8年9月期中間期 150百万円 (△16.3%) 7年9月期中間期 179百万円 (706.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
8年9月期中間期	27.67	ー
7年9月期中間期	32.08	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年9月期中間期	9,315	3,173	34.1
7年9月期	9,779	3,066	31.4

(参考) 自己資本 8年9月期中間期 3,173百万円 7年9月期 3,066百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年9月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
8年9月期	ー	0.00	ー	ー	ー
8年9月期（予想）	ー	ー	ー	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和8年9月期の連結業績予想（令和7年10月1日～令和8年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	15.0	380	42.0	370	47.6	235	36.0	43.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	8年9月期中間期	5,391,000株	7年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	8年9月期中間期	177,677株	7年9月期	201,577株
③ 期中平均株式数 (中間期)	8年9月期中間期	5,202,269株	7年9月期中間期	5,390,923株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、大企業の設備投資や個人消費の拡大傾向が続き、景気は堅調に推移しましたが、当社の主たるマーケットである住宅関連市場は、建設コストの高止まりや住宅ローン金利の上昇等が新設住宅着工戸数の回復を遅らせる結果となっております。一方、昨年来の米国関税政策の変化に加え、令和8年3月以降は中東情勢の悪化を受けた原油価格の高騰や石油化学製品の供給不安等、景気の不確実性が高まっております。

そうした経営環境の中、当中間連結会計期間は前年同期並の業績を達成することができましたが、インダストリーセグメントとニュー・インダストリーセグメントが前年同期を上回って好調に推移した一方、コンシューマセグメントは足踏み、プロフェッショナルセグメントは低調な推移となり、セグメント間の業績の差が広がりました。

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は前年同期を上回る5,239百万円(前年同期比6.1%増)、一方損益面は、営業利益267百万円(同2.1%増)、経常利益223百万円(同6.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益143百万円(同16.7%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### ①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は新設住宅着工戸数の低迷が業績の伸び悩み要因になりますが、当社では、多数の新商品を掲載した総合カタログ(Vol.17)の発刊や、大手壁紙メーカーの物流倉庫向け合理化機器の計画通りの販売等により、その影響の払拭に努めてまいりました。しかしながら自動壁紙糊付機の価格改定前の駆け込み需要が発生した昨年と比較しますと、売上高は前年同期を下回った結果となり、損益面も総合カタログの発刊費用のほか物価高騰の影響等で前年同期をかなり下回りました。

畳事業は、当社の強みである畳店への提案営業(当社の畳製造装置を活用した経営と生産の近代化の「畳店経営の構造改革」提案)や、畳店向けの工具等のネット販売により売上拡大をはかっており、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」(中小企業庁)等の採択一巡の影響により赤字基調は続くものの、業績は回復し始めてまいりました。

ソリューション&ネットワーク事業は、適正な事業規模の確保を目指して、引き続き見積・請求管理クラウドツールの契約者増、内装店・畳店向けのデジタルプリンターの販売等を推進しております。

その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は3,357百万円(前年同期比4.9%減)、営業損失63百万円(前年同期は営業利益28百万円)となりました。

#### ②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、棺用畳は大手葬儀場を含む複数の葬儀場の新規開拓により、売上増加を期しております。特殊機能畳は学童・デイサービス施設、スポーツ・フィットネス施設向け商品に加えて、長距離フェリー等の新たな需要を開拓しております。また、住宅向けの畳替え需要は回復の途上です。

一方、ソーラー・エネルギー事業と兵庫県佐用町に設置しているメガソーラー発電所「三日月サンシャインパーク」をはじめとする売電事業は、順調に進捗しました。

その結果、コンシューマセグメントの売上高は398百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益8百万円(同42.8%減)となりました。

#### ③インダストリーセグメント

産業機器事業は、大企業の活発な設備投資のほか、中小企業の労働力不足に対応する省人化システム等、新たなニーズが増加してまいりました。当中間連結会計期間におきましては、二次電池製造装置の継続的な受注に加え、温度センサー等の新たな分野の製造装置を新規先に納入するなど、マーケットニーズの拡大に積極的に対応しております。

食品機器事業は、大手飲食チェーンのマルチディスペンサーの大量入替受注を当期(令和8年9月期)中に全数納入すべく生産・出荷に努めております。また、他のチェーン店からの引き合いも一層活発化してまいりました。

その結果、インダストリーセグメントの売上高は992百万円(前年同期比46.1%増)、営業利益240百万円(同41.9%増)となりました。

#### ④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付け、得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。当中間連結会計期間では、前期に続いて自動車関連業界の顧客からの受注が順調に推移いたしました。

その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は492百万円(前年同期比49.1%増)、営業利益は70百万円(同52.8%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ①資産の部

当中間連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ464百万円減少し、9,315百万円となりました。資産のうち流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が375百万円増加しましたが、現金及び預金が113百万円減少、電子記録債権が405百万円減少、棚卸資産が153百万円減少したこと等により、411百万円の減少となりました。固定資産につきましては、投資その他の資産が15百万円増加しましたが、有形固定資産が60百万円減少したこと等により52百万円の減少となりました。

## ②負債の部

当中間連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ571百万円減少し、6,141百万円となりました。負債のうち流動負債は、電子記録債務が389百万円減少、賞与引当金が53百万円減少したこと等により、442百万円の減少となりました。固定負債につきましては、主に長期借入金が134百万円減少したことにより、129百万円の減少となりました。

## ③純資産の部

当中間連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し、3,173百万円となりました。これは、主に利益剰余金が90百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和7年11月14日の「令和7年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当中間連結会計期間 (令和8年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,308,567	1,195,540
受取手形、売掛金及び契約資産	1,328,279	1,703,619
電子記録債権	1,129,651	723,780
商品及び製品	881,902	788,630
仕掛品	199,618	152,632
原材料及び貯蔵品	271,098	258,332
その他	204,035	89,059
貸倒引当金	△547	△545
流動資産合計	5,322,606	4,911,050
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,638,743	1,600,154
土地	1,413,808	1,413,808
その他(純額)	565,473	543,591
有形固定資産合計	3,618,024	3,557,554
無形固定資産		
その他	59,071	50,977
無形固定資産合計	59,071	50,977
投資その他の資産		
その他	780,483	796,314
貸倒引当金	△860	△860
投資その他の資産合計	779,622	795,453
固定資産合計	4,456,719	4,403,985
資産合計	9,779,325	9,315,035
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	584,434	568,980
電子記録債務	919,619	530,139
短期借入金	1,780,000	1,760,000
1年内返済予定の長期借入金	272,858	272,858
未払法人税等	82,819	65,316
製品保証引当金	20,108	20,921
賞与引当金	180,347	126,450
役員賞与引当金	8,930	4,700
その他	316,162	373,819
流動負債合計	4,165,280	3,723,186
固定負債		
長期借入金	1,765,210	1,630,788
役員退職慰労引当金	318,200	330,900
退職給付に係る負債	411,034	398,605
その他	53,290	58,313
固定負債合計	2,547,734	2,418,607
負債合計	6,713,015	6,141,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当中間連結会計期間 (令和8年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,958,936	2,048,989
自己株式	△86,433	△76,187
株主資本合計	2,984,678	3,084,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,747	37,285
退職給付に係る調整累計額	51,884	50,977
その他の包括利益累計額合計	81,631	88,263
純資産合計	3,066,309	3,173,241
負債純資産合計	9,779,325	9,315,035

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)
売上高	4,939,887	5,239,920
売上原価	3,319,736	3,544,788
売上総利益	1,620,150	1,695,131
販売費及び一般管理費	1,358,497	1,427,991
営業利益	261,653	267,139
営業外収益		
受取利息	380	761
受取配当金	281	314
受取保険金	449	5,564
受取補償金	168	358
補助金収入	1,065	519
スクラップ売却益	1,134	1,622
その他	1,677	1,805
営業外収益合計	5,157	10,945
営業外費用		
支払利息	19,304	24,742
為替差損	2,406	2,683
支払手数料	3,189	23,285
その他	1,883	3,880
営業外費用合計	26,783	54,591
経常利益	240,027	223,494
特別利益		
固定資産売却益	727	—
特別利益合計	727	—
税金等調整前中間純利益	240,754	223,494
法人税、住民税及び事業税	62,067	53,005
法人税等調整額	5,759	26,526
法人税等合計	67,827	79,531
中間純利益	172,927	143,962
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	172,927	143,962

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)
中間純利益	172,927	143,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,507	7,538
退職給付に係る調整額	4,520	△906
その他の包括利益合計	7,027	6,631
中間包括利益	179,955	150,594
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	179,955	150,594
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	1,027,543	250,783	654,449	216,520	2,149,297
商品	2,470,099	125,674	8,265	89,269	2,693,309
その他	33,870	22,452	16,478	24,478	97,280
顧客との契約から生じる収益	3,531,514	398,911	679,193	330,268	4,939,887
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,531,514	398,911	679,193	330,268	4,939,887
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,531,514	398,911	679,193	330,268	4,939,887
セグメント利益	28,509	15,712	169,503	46,002	259,727

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	259,727
セグメント間取引消去	1,925
中間連結損益計算書の営業利益	261,653

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 令和7年10月1日 至 令和8年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	979,825	269,217	969,307	395,998	2,614,349
商品	2,340,245	107,213	8,780	64,062	2,520,301
その他	37,080	21,648	14,297	32,242	105,269
顧客との契約から生じる収益	3,357,151	398,079	992,385	492,303	5,239,920
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,357,151	398,079	992,385	492,303	5,239,920
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	1,623	1,623
計	3,357,151	398,079	992,385	493,926	5,241,543
セグメント利益又は損失(△)	△63,803	8,982	240,587	70,276	256,042

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	256,042
セグメント間取引消去	11,096
中間連結損益計算書の営業利益	267,139

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。